

PRESS RELEASE

Edmund Optics® の UAV シリーズレンズが、 Innovators アワード銀賞を受賞！

2024年7月(東京都文京区) - 光学技術の世界的メーカーであり、ソリューション・プロバイダーである Edmund Optics® の日本法人、エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社は、UAV シリーズ 固定焦点レンズが 2024 年 Vision Systems Design (VSD) Innovators アワードの銀賞を受賞したことを発表した。このレンズは小型、軽量、高解像度で、自律走行車やドローンでの使用向けに最適化されている。



UAV シリーズレンズは、広い温度範囲に対応するためにアサーマル化が施され、衝撃や振動に耐える性能を維持するために堅牢化されているため、ドローンによるマッピングや測量、空撮、写真測量の用途に最適である。

通常、レンズは高解像度に対応するにはサイズ、重量、複雑さを増す必要があるが、UAV シリーズレンズはコンパクトなサイズを維持しながら、2.74µm ピクセルサイズのセンサーで最大 24.4 メガピクセルの解像度を実現している。製品は、第 4 世代ソニー Pregius 1.2 型 IMX530/IMX540 センサーのような、新しい高解像度イメージセンサー向けに調整されている。

UAV シリーズレンズのロック機構付きのピント調整リングと絞りリングは、使用中の不要な調整を防ぐ。移動するロボットは、工場の床の上よりも遠くの対象物を見ることが多いため、このレンズは長い作動距離にも最適化されている。またレンズアッセンブリを通して、迷光を最小化するために細心の注意が払われている。これは、ロボティクス環境では、工場の床の上よりもはるかに制御が行き届かないため、非常に重要なことである。

エドモンド・オプティクス UAV シリーズ固定焦点レンズの 24.4 メガピクセルの解像度に匹敵する他の入手可能なレンズは、はるかに大きく重い場合、モバイル用途には実用的ではない。UAV シリーズのレンズは、無駄のないシンプルな機構と高度な組み立て技術で達成された厳しい公差により、小型のフォームファクターと高解像度の両方を実現する。

エドモンド・オプティクスの UAV シリーズ固定焦点レンズは、16mm、25mm、35mm の焦点距離があり、最短で当日出荷も可能。

詳細は [こちら](#)。

Edmund Optics について：

Edmund Optics® (EO) は、1942 年の創業以来、ライフサイエンス、バイオメディカル、工業検査、半導体、研究開発、防衛をはじめとする様々な市場にサービスを展開するオプティクス、イメージング、フォトニクス技術の大手グローバルサプライヤーです。光学部品、マルチエレメントレンズ、イメージングシステム、オプトメカニカル装置の幅広い設計や製造を行いながら、在庫販売品と特注品の大量生産で OEM アプリケーションをサポートしています。世界十数カ所の主要施設で事業展開する Edmund Optics は、1,100 人以上の従業員を抱え、今もなお拡大を続けています。日本のお客様は、現地法人のエドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社がサービスいたします。製品の購入は、03-3944-6210 への電話、日本語版カタログ、あるいはウェブサイト www.edmundoptics.jp から行うことができます。